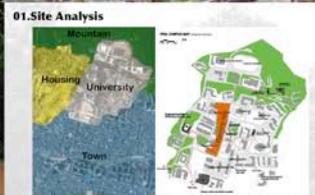


0. 報告日：2012年 8月 18日 (金)			
1.参加期間と場所：2012年7月30日 (月)～8月4日 (土)、大韓民国・釜山大学			
2.申請者と所属チーム			
資料 作成 者	(所属、学年)	所属 チ ーム	(所属チーム名称)
	大分大学大学院工学研究科 建設工学専攻博士前期課程2年 (氏名) 森下 泰敬		A3_JO4 (構成員氏名、大学、学年) Yasutaka MORISHITA、大分大学、M2 Ayaka MATSUMOTO、大分大学、M1 Teruhiro MISAKI、九州大学、M1
3.感想と今後の抱負			
<p>今回のWSは、建築を学ぶ日本・韓国・中国の学生が集まり、短期間で与えられた課題に対してグループ内で協議し合い、1つの作品を提出するというものです。元々設計に自信がなかった私は、事前WSでのみんなの考え方、設計の仕方、ソフトの使い方などを盗み、自分のものにしようと努力しました。このWSに参加することは今年が初めてで、また、M2での参加という責任感もあり、不安や期待を胸に参加しました。いざ始めてみると中国の学生の英語力、プレゼンテーション能力の高さに驚き、韓国の学生は母国語ではない英語においてもコミュニケーション能力が高く、私達日本の学生との差を肌で痛感しました。しかし、私の拙い英語でも伝えようと試行錯誤すれば相手に伝わる、そして、それは相手も同じで、伝えよう『対話』しようとするのが重要なのだと感じました。私は普段から英語を避けていましたが、今回を良いきっかけとし、英語習得に励みたいと思います。</p> <p>また、設計に関して私は主に話し合いや作業分担などのチームマネジメントに注力しました。約1か月におよぶ事前WSのおかげで、前半はスムーズに進みましたが後半は急なプランの変更、作業分担のミスにより時間が足らず、賞を逃してしまいました。自分のM2としての不甲斐無さ、マネジメント力の無さに悔いの残る結果となりましたが、チームとしてはまとまりがあり、お互いにとって有意義なWSにすることができたと感じています。</p> <p>今回のWSにより得たことをただの経験として自分の記憶にしまうのではなく、これからの人生の一つの『糧』としていけるように日々精進していきたいと思います。今回はこのような貴重な経験をさせて頂き、心より感謝しています。ありがとうございました。</p>			
4. 提案作品			
タイト ル	Closed to...	概要	<p>今回の課題である東道西器を東道＝日本の精神（あるものを最大限利用すること）、西器＝フォリーとし、ミルキーバレーの景観の美しさを再確認することを目的とした。その方法として、利用者が多く見られる橋沿いにミルキーバレーにフォーカスできるような窓や森林に近づくことができるように階段を設けた。周辺に馴染ませるために木や川の流れを模写し、木の枝の形の屋根を設けた。</p>

5. 提案作品のパネル



Pusan National University is in between Mt Geomsoong(金井山) and commercial area and there are various people in the University. There are facilities which many people can use like Museum or Library around Mirnae Valley so various people pass there. The origin of Mirnae Valley is Milky Way and Mirnae Valley held the beautiful nature and ecosystem. But by expansion of University and using Valley's rocks, the characteristic has been changing. Present, wooden road is maintained in one side of Mirnae Valley but we cannot see inside it from wooden walk. It is closed to University. Mirnae Valley is divided by bridges so unity lacks.

02.Concept
Sense and Thinking
 [Target] Passers Mirnae Valley and People
 * Enable targets to sense beautiful scenery in Mirnae Valley from folly whichever they walk or stop
 * Reconsidering casual place like nature
 * Making identification of Mirnae Valley by folly

Thinking about 東道西器
東道 = Asian Spirit
 →Harmony with nature & Simple economy
西器 = Folly
 →Complementing Radical scenery & No function
 東道西器
 →Folly which is not too intervene nature and can sense identification with nature

Dry garden style 枯山水 = Asian Spirit
 It isn't a garden such as walking.
 It's composed to enable to be appreciated quietly from indoor. Facing up to Scenery
SENSE SCENERY

